

県会議員 奥村のり子 の
読者ニュース



2014年6月1日 第133号
——奥村のり子生活相談所——
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場1-11
☎ & F A X 073-427-7121
Eメール w-jcpken@naxnet.or.jp

義父の入院で思ったこと

先日、義父の急な入院で家族が交代して付き添いをしていました。95歳という高齢のため環境の変化による不穏状態に陥ることが心配でした。看護師をしていた私にとつて久しぶりの病棟で過ごす時間ができ、最近の医療現場の様子を間近に接する機会となりました。「痛いよう、痛いよう」と叫び続ける患者さんや鳴り響くナースコールへの対応

過酷な医療現場の労働実態
安心・安全の医療へ頑張りたい

で食事や排泄の介護などに飛び回っています。

5月17日には毎年取り組まれている医労連の「医師・看護師・介護職を増やせ」のスリーウエーブ行動に参加させていただいたところです。

昨年の日本医労連が行なった



全国調査「看護職員の労働実態調査」の県内に働く看護職員の調査結果のまとめを読みました。これまで政府は看護職員の確保対策を進めてきましたが、今回の調査で依然として現場の厳しい実態は改善されていないことは明らかです。ぜひ、6月県議会定例会においても県の確保対策や勤務環境の改善について質してまいります。県民の誰もが「安全、安心」の医療や介護を受けられるよう、みなさんの声をしっかりと届けるためがんばります。(のり子)

スリーウエーブ行動の会場で挨拶する奥村のり子(右)と坂口多美子党市医療福祉対策部長(左)



小さな町の大きな闘いが
日刊赤旗1面に

先週5月26日の日刊赤旗は、1面トップで「特攻死の無念、戦争告発」「改憲に反対」有権者過半数の町「和歌山・美浜町を訪ねて」という記事。1面だけでなく15面と2面に渡る報道にびっくり。地元9条の会が8年かけて有権者過半数の署名を集めたという記事ですが、筆者も強い思いがあります。町に駐屯する陸上自衛隊が美しい煙樹ヶ浜に水陸両用の地雷敷設車を配備し軍事訓練場にしようと狙っています。

そんな計画に反対する運動を学び支援するという立場で、共産党県後援会が2005年6月5日、現地と相談し、「煙樹ヶ浜フェスタ」を開催したのです。紀北地域や和歌山市から観光バス6台連ねて参加。地元合わせて1千人近くが沖繩芸能



天音太鼓の演奏でフェスタ開幕

エイサーや天音太鼓の演奏に歌声、そして自衛隊施設の視察やら、最後は伝統の地曳網を大勢で引き上げ、新鮮な美味しい魚を楽しみました。「美浜の自然を守る会」のホームページからたくさん写真が見れます。小さな町の大きなねばり強い平和を守る闘いに敬服です。(編集室)

のり子の週間日誌(主なもの)

- 5月30日 市駅前宣伝、地域訪問。街頭宣伝(河西)
- 31日 会議、地域訪問
- 6月 1日 県母親大会
- 2日 防災調査
- 3日 県議団会議、県事業説明会、党県社保部会
- 4日 県事業説明会
- 5日 無料生活相談日、会議、あさみの会総会

3歳娘と平和行進

24日、子どもと一緒に平和行進に参加してきました。市役所から大新まで行つてぶらくり丁を通つて帰ってくるコースで3歳児にはかなりの距離だったようですが、途中2回の抱っこで元気に歩いていました。

初めの頃は、「戦争反対」、「9条守れ」とシユプレヒコールを真似していました。ノーモアナガサキ・ヒロシマはどうやら難しかったようですが、とりあえず平和行進に参加していました。とはいえ、途中からは、走ったり歩いたり、花に気を取られたり、行進というより散歩を楽しんで



平和行進参加の党市議団と中村親子です。

暑い中元気に最後まで歩きました

商店街に入つてからは、目移りする物が増えキョロキョロとしていました。

おもちゃ屋に目が止まらなかつたのは幸いでしたが、果物屋に目が止まってしまうました。さくらんぼを購入して、おまけでバナナをもらい上機嫌で行進再開です。終点では、バナナを頬張りながら大休止して、帰りはタンポポの綿帽子を探しながら帰りました。

家に着く頃には一時を過ぎていました。かなり疲れた様子で車に乗るなり眠ってしまった。暑いに着いてもぐっすりでした。暑い中本当にご苦労さまでした。

党市青年部長
中村 あさと

